

仕 様 書

この仕様書は、公益財団法人放射線影響研究所（以下「甲」という。）が委託する警備業務の概要を示したものである。受託者（以下「乙」という。）は、ここに記載されていない細部の事項についても、現場の状況に応じ、甲と協議し、誠意をもって行うものとする。

1. 件名：公益財団法人放射線影響研究所 広島研究所警備業務

2. 警備対象施設および範囲

広島市南区比治山公園 5 番 1 号および 5 番 2 号

公益財団法人放射線影響研究所 広島研究所の全施設および敷地内全域（比治山宿舎を含む）（※別添 3 を参照）

3. 契約期間：2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで（自動更新あり）

4. 業務目的

警備対象範囲における火災、盗難、破壊等のあらゆる事故発生の警戒・防止ならびに無断侵入者の発見・排除により財産の保全および人身の安全を図り、甲の業務の円滑な運営に寄与することを目的とする。

5. 任 務

- (1) 警備員の任務は別添 1 のとおりとする。
- (2) 乙は前号の任務を遂行するにあたり、責任感のある誠実で健康な者をこれに充てるものとする。

6. 業務内容

- (1) 警備室を拠点とする常駐警備
- (2) 警備対象区域内の巡回監視
- (3) 緊急事態への対応

7. 資格要件

乙は、業務の実施にあたり、甲の公益事業目的を理解した者で、且つ次の各号に定める要件を満たした者でなければならない。

- (1) 警備業法第 2 条第 1 項第 1 号の業務を行っている者
- (2) 警備業法第 4 条の規定による都道府県公安委員会への認定を受けていること。
- (3) 広島県内の業者であること。県外業者にあつては警備業法第 9 条の規定により、広島県公安委員会に届出していること。
- (4) ISO27001 (ISMS 認証) を取得していること。

8. 業務時間および人員

※別添 2 のとおりとする。

9. 服装および留意事項

- (1) 警備員は乙指定の制服・制帽を着用し、乙から支給された装備品を身につけて任務にあたること。

- (2) 業務遂行上は、甲の慣行、諸規則を尊重すること。
- (3) 甲と乙は互いに緊密な連絡を保持し、甲の担当者その他職員と良好な人間関係の保持に努めること。
- (4) 来訪者の応接や電話応対に際しては言葉や態度に留意し、甲の品位を失することのないようにすること。
- (5) 事故の取扱い、措置にあたっては、努めて甲の関係者と協議すること。

10. 報 告

- (1) 警備報告
毎日の警備実施状況は、定められた様式により、翌日の業務開始時刻までに担当者へ報告する。なお、休日の警備報告は休日明けの業務開始時刻までに行う。
- (2) 事故報告
事故発生の際は、速やかに電話または口頭で、甲の責任者に報告するとともに、後刻書面をもって報告する。

11. 警備員の業務上の負傷及び業務中の損害賠償

- (1) 警備員に業務上の負傷その他事故が発生した場合、甲はその責を負わない。
- (2) 乙は、警備員が業務中に建物、備品等の滅失破損その他甲に損害を与えたときは、その損害賠償をしなければならない。ただし、警備員の責に帰することのできない事由のときはこの限りではない。

12. 指揮系統

- (1) 警備員の人事、指揮権は乙にあるものとするが、任務遂行上の具体的事項については甲の警備担当責任者と常に密接に連絡をとったうえで実施するものとする。甲乙双方の意見に懸隔があるときは、相互の意見を尊重し調整を図るものとする。
- (2) 乙は、業務に従事する従業員を指揮監督するとともに、警備業法に定める教育指導等を行い、また、甲が必要とする知識等の習得に努めるようその管理を徹底すること。

13. 業務遂行上の義務

- (1) 乙は、善良な管理者の注意をもって業務にあたること。
- (2) 乙は、労働安全衛生法その他災害防止関係法令の定めるところにより、常に安全管理に必要な処置を講じ、労働災害発生の防止に努めなければならない。
- (3) 本業務を行うにあたっては、警備業法その他関係法令を遵守し、誠実、迅速かつ効率的に行うこと。
- (4) 乙は、従事する警備員に対し警備業務を適正に実施させるため、関係法令で定めるところにより教育を行うとともに、必要な指導及び監督をすること。
- (5) 乙は、警備員に対し、職務上知り得た事項を第三者に漏洩してはならず、また、在職中及び退職後において職務上知り得た事項を業務の目的以外の目的に使用してはならないことなど、必要な事項を周知するものとする。

14. 合意事項

本業務の実施にあたり、以下の事項について甲と乙は互いに合意したうえで任務にあたるものとする。

- (1) 乙は、警備上必要な警備室及び休憩室（付帯する電話、電気、ガス、水道、冷暖房設備、什器備品等必要な設備一切を含む）を甲から無料で借用、使用できる。
- (2) 乙は、業務実施に必要な鍵（カードキーを含む）を甲から預託された場合、自らの責任において厳重に取扱い保管する。
- (3) 事故発生時の連絡のため、あらかじめ甲は乙に目的に応じた連絡先を指定する。
- (4) 次の事項について、乙は甲が指定した手順に従って実施するものとする。

- ・休日・夜間の出入り制限について
- ・鍵の授受保管と鍵の収納箱の備付について
- ・遺失物の取扱いおよび夜間休日における郵送物の保管について
- ・その他必要な事項

15. その他

任務遂行上、この警備仕様書に定めのない事項について必要あるときは、甲・乙協議のうえ、解決に努めるものとする。

警 備 任 務

1. 警備任務

(1) 警備室を業務の拠点として次の任務を行う。

- (A) 受付業務
 - a) 外部からの来訪者対応
 - b) 外線電話の交換業務
 - c) 郵便物、宅配便などの文書・荷物の受け渡し
 - d) 拾得物の管理と連絡
- (B) 出入者等の監視と排除（防犯カメラによる監視を含む）
 - a) 甲の職員以外の立ち入りと不審車両の乗り入れの監視およびそれらの排除
 - b) 不審者の発見と排除
- (C) 各種鍵の授受と保管
- (D) 警報鳴動時の連絡および対応（研究機器の電源操作等は除く）
- (E) 職員退出後に送達された郵便物などの授受保管
- (F) 駐車場の規制・確保および危険物の排除
- (G) その他警備上必要な連絡業務

(2) 巡回は敷地内の各建物の内周及び外周を回って、次の任務を行う。

〔平日夜間（17 時～8 時 30 分）：6 回、1 回あたり約 1 時間〕

〔休日昼間（8 時 30 分～17 時）：6 回、1 回あたり約 1 時間〕

〔休日夜間（17 時～8 時 30 分）：6 回、1 回あたり約 1 時間〕

- (A) 建物内の巡回
 - a) 職員退出後の不要灯の消灯
 - b) 開放窓の閉鎖
- (B) 火災防止
 - a) 職員退出後の火気使用箇所の点検
 - b) 消火器設置場所の点検
 - c) 敷地内喫煙者の発見と指導
 - d) 火災の早期発見と初期消火
- (C) 盗難防止
 - a) 職員退出後の各棟への出入口の施錠の点検および建物外周の外観からの点検
 - b) 指定された施錠箇所の施錠と開錠
 - c) 不審者の発見と排除
 - d) 侵入者の発見捕捉
 - e) 通常の出入口でない場所における出入者の発見と排除
- (D) その他

- a) 水道栓、水漏れなどの点検
- b) ガス漏れの点検
- c) 警備室周辺および正面玄関前の枯葉等の清掃（午前 7：00 頃に実施）

2. 緊急事態が発生した場合の処置

火災、その他緊急事態が発生した場合は、次の要領によって処理するものとする。

- (1) 警備員は、初期消火、不審人物の捕捉、負傷者の救護（心肺蘇生、AED の使用）など、事態に対応した第一次的処置を行う。
- (2) すみやかに指定された連絡先ならびに警察、消防の関係機関に通報してその出動を要請する。
- (3) 一時的任務遂行後は現場保存その他必要な処置を行う。

3. 注意事項

- (1) 乙は、甲が所有するデータ・試料等は世界的に非常に重要なものであることに留意すること。
- (2) 任務遂行のために甲が乙に預けた鍵は、乙において善良な管理者の注意をもって保管すること。
- (3) 乙は、甲から預かった鍵は任務遂行のためだけに使用するものとし、これを他の目的への使用ならびに他への貸与または譲渡してはならない。
- (4) 乙は、任務遂行上知りえた甲の情報は、みだりに他人に知らせ、または不当な目的に使用してはならず、それは委託業務が完了した後および警備員の配置が変わった後も同様とする。

業務時間および配置人数

【平日】

	時間	配置人数
昼間	8 時 30 分～17 時（休憩を含む）	1 名
夜間	17 時～8 時 30 分（仮眠、休憩を含む）	2 名

【休日】（土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始）

	時間	配置人数
昼間	8 時 30 分～17 時（休憩を含む）	2 名
夜間	17 時～8 時 30 分（仮眠、休憩を含む）	2 名